

「時価総額100億円」を目指す

逆算の思考

キムソン
金誠智氏

アイスリー代表取締役社長
公認会計士



アンケートご回答特典

- 講演資料
- アイスリー金氏との壁打ち面談
(30分、無料、5社限定)

IPO準備

IPO後を見据えた
新しいIPO準備のスタンダード

5.26 水 ONLINE
13:30-14:45

お申込み <https://www.obc.co.jp/260526>



お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。



<https://www.obc.co.jp/260526>

「時価総額100億円」を目指す、逆算思考のIPO準備 —IPO後を見据えた、新しいIPO準備のスタンダード—

グロース市場で導入された「上場後5年で時価総額100億円」という上場維持基準により、IPO準備は単に“上場審査を通過する”ための対策ではなく、IPO後も持続的に成長し続ける企業であることが求められる時代へと大きく転換しました。しかし、実際の現場では、日々の業務に追われる中で、IPO後の時価総額を意識した準備まで踏み込むことは容易ではありません。

本セミナーでは、グローバルオフリングによるIPOの責任者として推進し、その後はIRオフィサーとして延べ1,000回を超える機関投資家とのIR面談を実施してきたアイスリー株式会社 金誠智氏が、逆算思考のIPO準備について解説します。

N-3以前から逆算して設計する「新しいIPO準備のスタンダード」を、ぜひ本セミナーでご確認ください。

(1) 株式資本市場のメカニズム

- ・ 上場企業の時価総額分布の実態
- ・ グロース市場における時価総額とバリュエーション水準の変化
- ・ IPO時の時価総額と上場後の資金調達額・成長率の関係

(2) 機関投資家の投資意思決定プロセス

- ・ 市場別に見る投資家構成（個人／機関）の違い
- ・ 機関投資家の運用手法と、投資対象を制限する構造
- ・ なぜ時価総額100億円未満では機関投資家の投資対象になりにくいのか

(3) 「100億円の壁」を越えるために本当に必要な準備

- ・ 皮算用の事業計画はNG、合理的な事業計画の考え方
- ・ 売上・コストを因数分解し、成長を説明できる数字の作り方
- ・ IPO時に時価総額100億、さらにその先を見据えた理想の中長期設計
- ・ IPOに「楽」を提供するための現実的な進め方

Q&A

ご参加の方のご質問にお答えいたします。ご質問はお申し込み時のアンケートまたはZoomのQ&Aよりお願いいたします。

※内容やお時間の都合により、すべてのご質問にお答えできない可能性がございます。ご了承ください。

金誠智 (キム ソンジ) 氏 アイスリー株式会社 代表取締役社長 公認会計士

有限責任監査法人トーマツで監査、IPO支援、トーマツベンチャーサポートに従事。IPO準備会社の社員の一人として活動したいという想いから株式会社リプライスに移り、オーナー企業のIPO準備を実施。主幹事証券会社の中間審査と同時期に、株式会社カチタスからのM&A提案を受け、バイアウトを決定しグループ会社となる。株式会社カチタスのIPO準備室室長としてグローバルオフリングによるIPOを経験。上場時の時価総額は650億円。その後、年間200件、延べ1,000件を超える機関投資家とのIR-MTGを実施。最高時価総額は3,800億円超。2020年9月にアイスリー株式会社を設立し、IPO準備の効率化を支援するDXツール「はじめのIPO（はじめのいっぽ）」を提供中。



「時価総額100億円」を目指す、逆算思考のIPO準備—IPO後を見据えた、新しいIPO準備のスタンダード—

日時	2026年5月26日（火）13:30～14:45（開始15分前からアクセス可） ※Zoomで配信いたします。
対象	IPOを検討されている企業の経営層、CFO、管理部門の責任者 等
定員	500名
共催	アイスリー株式会社／株式会社プロネクサス／ 株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO／株式会社オービックビジネスコンサルタント
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 坂本／山口 mail: obc-as@obc.co.jp

※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。
※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性がございます。